

9月の「図書館おすすめ絵本」です

9月19日（土）はドームパークセンター子どもの遊び場で「絵本ふれあいDAY！」が開かれます。読み聞かせボランティアサークルおはなしの森の皆さんの読み聞かせを体験しよう！図書館の絵本の展示もしているよ。ぜひ手にとってみてね。

	書名		はらいねこ		分類	E ハ
	著者	みやけ ゆま／作		出版社	小学館	
所蔵館	てまねきをしてお客さんをまねくのが仕事のまねきねこ。 ところが、たなからおちてだいじな手がおれてしまいました。 いそいで手をくっつけたら、おきゃくさんはどんどん かえっていきます。なんと手を反対にくっつけてしまった のです。お客さんをまねくことができなくなったまねきね こは、あたらしい仕事をみつけました。					
栗盛・田代						

* そのほかの新着絵本 *

「きゅうり」 のばしたりきざんだり、よみかたをかえてきゅうりをあじわってみよう。
「へんしんするゆび」 本にあいている穴にゆびを入れていろんなものにへんしんさせよう。
「もしもコレクション」 こんなのがあったらいいな、こんなのがあったらどうしようがいっぱい！
「ろめんでんしゃでおでかけ」 ろめんでんしゃで行く花火大会はすてきなことがおこります。

↑ 所蔵館：全て栗盛

	書名	津波！！命を救った稲むらの火		分類	E ツ
	著者	小泉八雲/原作 高村忠範/文・絵	出版社	汐文社	
所蔵館	日本はむかしから大きな地震がおこりました。ときには津波も発生して、たくさんの被害がでました。江戸時代におきた大津波のとき、かりとった稲むらをもやして津波から村人を守った長者さまがおりました。 実際にあった地震と実在の人物をもとに、小泉八雲が創作した物語をもとに作られた絵本です。				
栗盛					

* そのほかの防災絵本 *

「きゅうきゅうばこ」 けがをしちゃった！そんなとき手当てをおぼえていると安心だね。
「地震がおきたら」 地震がおきたときに自分やみんなを守るために何をしたらいいのかな。
「しょうぼうしゃ、てんけんよし！」 消防車のしくみや消防士のしごとに密着しました。
「たいふうがくる」 うみへ行くのを楽しみにしている思いがたいふうをおいはらいました。

↑ 所蔵館：栗盛、栗盛、栗盛、栗盛・花矢、比内、田代